

(台風時)

いざという時にどう動く!?

保存版

□□

家の

避難行動予定表

まっえマイ・タイムライン

自然災害から自分たちの命を守るため、災害が近づく前にあらかじめ取るべき行動を決めておくと、いざというときの避難行動に役立ちます。自分の行動予定表「マイ・タイムライン」を作ってみましょう。

自宅の危険度

ハザードマップで調べた自宅の危険度などを記入しておきましょう。

洪水浸水予想

0.5
m

土砂災害
警戒地域



津波浸水予想

0.2
m

私の避難場所は、

○○○
です。

警戒
レベル

1

2

3

4

5

避難
情報

早期注意
情報

注意情報

高齢者等
避難

避難指示

緊急安全
確保

警戒レベルごとにその時自分が何をすべきかを考えて記入しましょう

平常時から台風
発生時にかけて

【平常時】

- 「わが家のハザードマップ」により、避難場所や避難経路を確認する
- 安全確保が可能な場合は自宅にとどまることも検討する
- 親戚や知人宅などへの避難も検討する
- 情報入手手段を確認する（防災メールの登録等）

【台風発生時】

- 気象情報を確認する
- 非常持ち出し品を点検する
- 持病薬や体調に応じた薬を準備する
- 家の周りの片づけを行う
- 自宅にとどまる人は、食料や停電などの非常時に必要な物資等を購入する

雨風が
強くなる前

- 避難場所や避難経路を再確認する
- 気象情報を再確認する
- 非常持ち出し品を再点検する
- 携帯電話の充電を完了しておく
- 家族の予定を確認する
- 大切なものを2階に上げる
- 感染症対策として、マスクやアルコール消毒液などを準備する
- 体温を測り、健康状態を確認する
- 避難に介助が必要な人は、支援者に連絡をとる

避難開始時期

- 市から発出される情報により、避難所開設状況を確認する
- 避難しやすい服装に着替えるなど、いつでも避難できるように準備する
- 近所の高齢者の方などに声をかける

・火の元、戸締まりを確認する

・高齢者など避難に時間の掛かる人とその支援者は非常持ち出し品を持って避難を開始する

・火の元、戸締まりを確認する

・非常持ち出し品を持って避難を開始する

・避難する方がかえって危険な場合は、家の中の安全な場所に移動する。

災害発生

・警戒レベル4までの時点で避難できなかった場合、命を守るための最善の行動をとる。

これは一般的な事項を列記したものです。各ご家庭の状況等を踏まえて、具体的な内容を考えてみましょう。

